

著作権についてのSNS炎上の傾向分析

天野 由貴^{1,a)} 隅谷 孝洋²

概要: SNS ではしばしば炎上現象が起こるが、炎上に参加する人は『祭り型』と『制裁型』が多いとの先行研究がある。本稿では、著作権に関する炎上には『制裁型』が多いと仮定し、内閣府のポスターの事例に焦点を当て、Twitter の投稿の傾向分析をおこなった。2023 年 4 月から 6 月にかけての 1400 件あまりの関連投稿を遡って収集し、埋込ベクトル化することで定量的な分析をこころみた。その結果「著作権侵害」と主張している投稿が、事件の序盤に多くあることを確認した。また、「著作権侵害ではない」という主張をする層は、専門家の投稿も見ていた。これらを確認するため、投稿の定量化が有用であることを確認できた。

キーワード: 著作権, SNS, Twitter, 炎上

Analysis of the Trend of SNS Flaming Regarding Copyright

YUKI AMANO^{1,a)} TAKAHIRO SUMIYA²

Abstract: On social media, the phenomenon of 'flaming' often occurs, and there is existing research indicating that participants in such flare-ups tend to be of the "festival-goer" or "sanctioning" type. This paper hypothesizes that the "sanctioning" type predominates in copyright-related flaming. It focuses on a case involving a Cabinet Office poster, analyzing trends in Twitter posts. Between April and June 2023, over 1400 related posts were collected retrospectively and subjected to quantitative analysis through embedding vectorization. The findings confirmed that posts alleging "copyright infringement" were numerous in the early stages of the incident. Additionally, a layer of people claiming "no copyright infringement" included posts by experts. These findings underscore the utility of quantifying posts to understand such phenomena.

Keywords: copyright, SNS, Twitter, flaming

1. はじめに

SNS ではしばしば『炎上』と言われる現象が起こる。『炎上』とは、企業や団体、著名人の言動等に対して、Web 上で集中的に批判や悪評が飛び交う騒ぎを指す語である。吉野は炎上の類型を『祭り型』と『制裁型』に分けた [1]。『祭り型』は「誰かを叩いてスカッとしたかったから」「盛り上がっていたから」「もともと相手が嫌いだったから」等の理由で批判しており、『制裁型』は「相手が間違ったことを

したから」「他人の批判に共感したから」「相手に忠告したかったから」等の理由によっているといる。またそれぞれの批判傾向について、以下のように説明している。

「祭り」型動機が強い者には、炎上に参加した者・炎上した者双方への影響を楽観視していると同時に、ネットのバッシングを面白いと捉えている傾向があり、炎上を面白がって参加していると考えられる。一方、「制裁」型動機が強い者には、炎上した者を常識がないと非難し、炎上は社会正義だと肯定する態度が強い傾向があり、より真剣に炎上した者を批判していると考えられる。

『制裁型』には「炎上するのは常識がないからだ」という炎上した者を非難する態度と、「炎上には、社会正義とし

¹ 帝京大学 ラーニングテクノロジー開発室
Library Learning Technology Laboratory, Teikyo University,
Teikyo University

² 広島大学 情報メディア教育研究センター
Information Media Center, Hiroshima University

a) amano.yuki.xk@teikyo-u.ac.jp



図 1 内閣府の啓発ポスター
出典：朝日新聞 [11]

ての意味がある」という炎上を肯定する態度が有意に高いことを示した。また、「うさ晴らし」傾向があることも示唆されている。

近年、著作権関係の炎上事例が多数ある。ある特定の著作物を他の著作物の『パクリ（類似性がある）』として批判しているものが多い。東京五輪エンブレム問題（2015年）[2]、ポプテピピック×サイコガン事件（2018年）[3]、編み物動画 YouTuber 事件（2020年）[4] などが有名である。

自治体などの行政機関の事例も複数ある。日田市（2017年）[5]、境港市（2018年）[6]、大分市（2020年）[7]、南相馬市（2020年）[8] などの例があり、大阪 IR の件 [9] は美術家奈良美智氏の「あおり犬」の類似画像を無断で使用するなどの著作権侵害があり、ニュースでも多数取り上げられた。

SNS ではこうした件があるたび『制裁型』の投稿が多く見られる。本稿では、2023年4月にSNSで特に話題になった内閣府のポスターの事例に焦点をあてて、X（旧 Twitter：以下 Twitter と記す）における投稿分析をおこなった。

2. 事件の概要

2.1 内閣府ポスター事件

2023年4月、内閣府は若者の新生活が始まる4月の1カ



図 2 たなかみさき氏のイラストの例
出典：たなかみさき「ずっと一緒にいられない」パルコ、2017年

月間を「若年層の性暴力被害予防月間」として、啓発用ポスター（図 1）を凸版印刷株式会社に発注、1万5700枚を印刷し全国の警察署や駅などに配布した。同月14日にポスターのイラストが、イラストレーターのたなかみさき氏の絵に類似しているとの外部から指摘があり、内閣府が凸版印刷に確認したところ「制作過程において、たなかみさき様の作品を参考とした事実があり、作品の類似性に関するチェックが不十分であったことを認める」報告があった。内閣府は18日にポスターおよび関連動画の使用を取りやめ、たなかみさき氏に謝罪した [10][11]。凸版印刷は19日に謝罪文を掲載 [12]、たなかみさき氏は「内閣府のポスターイラストが私のイラストに類似している件について 謝罪と撤去をしていただける事になりました」と Instagram に投稿した [13]。

2.2 著作物の類似性判断について

著作権侵害の成立要件として、被侵害著作物とされる作品が著作権法で保護される著作物であること（著作物性）、既存の著作物を参考としていること（依拠性）、創作的表現に共通性があること（類似性）とされている [14][15]。

今回の件では、凸版印刷が「参考にした」と報告しているため『依拠性』はあるように思われる。しかし、この事件は多数の新聞社やテレビ局がニュースとして取り上げているが、類似しているとする元の作品を示しているものはない。たなかみさき氏の Instagram や書影、Google 画像検索などでも探してみたが発見できなかった。大阪 IR の事例では多くのニュースが「あおり犬」の画像を使用しており、もし今回の件で元の作品があるのであれば、各ニュースはその画像を使用したのではないかとと思われるが全く発見できなかったため、類似しているとする元の作品は存在しないことが推察される。そうであるならそもそも依拠すべきものが無いということになる。あくまでも参考にしたのは『画風』であることとなる。『画風』は『アイディア』

に該当し、著作権法では保護されない [16]. 『類似性』を判断するには、元の作品の創作的表現や特徴とどれくらい共通性があるかを見る [14] が、被害著作物となるのは現実に創作された具体的な表現である必要があり [14], 比較すべき元になる作品が無い場合には『類似性』を判断することはできない. 「著作権侵害とまで言えるか」というと厳しい」と海老澤美幸弁護士も述べている [17].

著作権侵害となるかどうかは『著作物性』『依拠性』『類似性』の観点から、裁判で総合考慮的に判断されるものであり、裁判結果を見ても専門家ですら意見が分かれるものである [14]. 本件は裁判には至らず、実際に著作権侵害となったかどうかはわからない.

3. SNS 投稿分析

3.1 Twitter の投稿収集

代表的なテキスト型の SNS として Twitter の投稿を分析することとした. Twitter は 2023 年 6 月 15 日に従来の API は閉じ、有料契約をしなければ API を使用しての投稿収集ができなくなった. Basic ライセンスは月額 100 ドルだが直近 7 日の投稿しか収集できず、Pro ライセンスは月額 5000 ドルと高額である. そのため、本研究では TweetDeck [18] による検索で、投稿を抽出した. TweetDeck は Twitter 公式クライアントアプリケーションであり、2023 年 8 月 16 日より有料会員にのみ提供されている. TweetDeck は期間限定検索ができるため、以下のように設定した.

- ・ キーワード：内閣府 and ポスター
- ・ 期間：2023 年 4 月 16 日～6 月 30 日 (since:2023-4-16 until:2023-6-30)

はじまりを 4 月 16 日としたのは、それ以前の日付で類似の内容の投稿がなかったためである. 終わりを 6 月 30 日としたのは、前述の海老澤弁護士の投稿が 6 月 18 日であり、それ関連の投稿が 6 月にあった月末まで検索したが、実際の抽出結果では 6 月 23 日の投稿が最後となった.

検索結果からコピペでデータを抽出し、その結果投稿数は 1438 件となった. TweetDeck では 1 つずつ投稿を開かないと投稿時間が取得できないため、今回は日付しか抽出していない. 1 日ごとの投稿件数を図 3 に示す.

3.2 投稿の傾向分析

TweetDeck からのコピペではリツイート (RT) 数、いいね (fav) 数を取得できないが、Octoparse [19] を使うと取得できることがわかったため、本節ではその数値を利用している.

3.2.1 いいね 50 件以上の投稿

TweetDeck では指定の数以上 fav された投稿を抽出できるため、上記と同じ期間で fav 数 50 以上の投稿を検索したところ、33 件が抽出された. うち 8 件が新聞・テレビ局等ニュースアカウントであった. その他 25 件の投稿の内

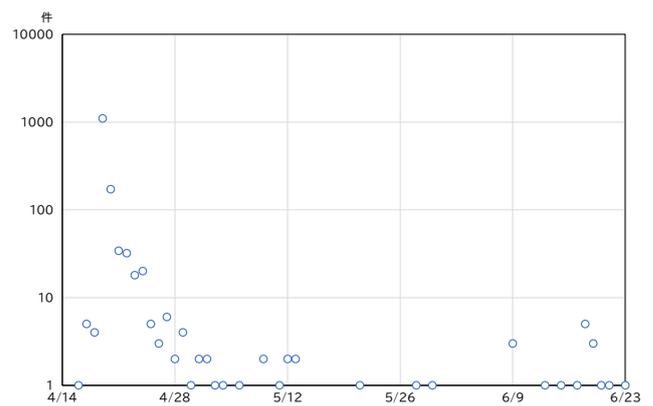


図 3 1 日ごとの投稿数の推移

表 1 fav50 以上の投稿の傾向 (n=25)

	RT 数	fav 数
悪い	3249	7394
どちらでもない	2046	3092
悪くない	1393	1602
事実	1045	2015

容を筆者が読んで、「(内閣府ポスターは) 悪い」「(内閣府ポスターは) 悪くない」「どちらでもない」「事実 (事実情報のみ)」に分けた. それぞれの fav 数とリツイート (RT) 数を合計したものを、表 1 に示す. 「悪い」が圧倒的に多くなっており、「悪くない」に比べると RT が 2.3 倍程度、fav は 4.6 倍もあるのがわかる.

3.2.2 ニュース関係の投稿

今回の件は報道にも著作権侵害が事実かのような誤認識を誘う責任の一端がある. 上記に書いたように、今回の件は類似しているかどうか判断できない. 「類似の指摘があった」旨の記載は事実と沿うが、「別作品と類似」と書いてしまうと類似が事実であったかのように受け取られかねない.

今回、新聞社やテレビ局などの報道関係のアカウントから、内閣府ポスターに関する投稿が調査期間内で 72 件あった. まず共同通信が「【速報】内閣府啓発ポスター使用中止別のイラストレーター作品と類似」と報じたため、各社この表現を踏襲しているところが多い. 神戸新聞、京都新聞、日本経済新聞、佐賀新聞、山陰中央新報、東京新聞、テレ朝 News の投稿がそれに当たる. NHK は「内閣府 啓発用ポスター ほかの作品と類似で使用取りやめ」としている.

誤解のない表現になっているのは、毎日新聞、産経新聞、読売新聞、西日本新聞、日テレ NEWS、テレ東 Biz、ガジェット通信、ハフポスト、ねとらぼ、時事ドットコム、LINE ニュース、ニコニコニュース、オリコンニュースである. 朝日新聞は「指摘」と表現しているものの「(作品が酷似) と指摘」と他社では使用していない『酷似』という単語を使用しているところが恣意的である.

誤解を与えやすい表現の投稿は 35 件で、RT 数計は 3499、

fav 数計は 2151 であった。一方誤解を与えない表現の 37 件の投稿は、RT 数計は 1070, fav 数計は 1077 となっており、誤解を与えるほうがより拡散された状況であったことがわかる。

以下、参考までに 2023 年 4 月 19 日に報じられた Web ニュースの見出しを示す。

<適切な見出し>

- ・ 日テレ NEWS：内閣府の“啓発ポスター”回収へ「他の作品と似ている」指摘受け… 制作担当者は「参考にして描いた」
- ・ 静岡新聞：内閣府の性暴力被害防止ポスター 県庁などで掲示取りやめ
- ・ ハフポスト：あなたが YES でも、わたしが NO なら性暴力。」のメッセージ自体は「問題なかった」と内閣府。啓発ポスター回収の原因はイラスト
- ・ 読売新聞：「別の作品に似ている」内閣府が啓発ポスターの使用取りやめ…凸版印刷「制作過程で参考にした」
- ・ テレビ朝日：内閣府のポスター「別作品と類似」指摘認め謝罪 使用中止・回収へ
- ・ 日刊スポーツ：啓発ポスター使用中止で凸版印刷がかわび 別イラストレーターの作品を「参考とした事実あった」
- ・ NHK：内閣府が陳謝 イラストレーターの作品参考に啓発用ポスター
- ・ ねとらぼ：内閣府、性暴力被害予防のポスター取り下げ イラストレーターの作品に類似と指摘

<誤解を与えやすい見出し>

- ・ 共同通信：性暴力予防のポスター使用中止に 内閣府、別作品と類似
- ・ 山陽新聞：性暴力予防のポスター使用中止に 内閣府、別作品と類似
- ・ 福井新聞：性暴力予防のポスター使用中止に 内閣府、別作品と類似
- ・ 日本経済新聞：性暴力予防のポスター使用中止 内閣府、別作品と類似
- ・ 47NEWS：【速報】内閣府啓発ポスター使用中止 別のイラストレーター作品と類似
- ・ NHK：内閣府 啓発用ポスター ほかの作品と類似で使用取りやめ
- ・ スポニチ：凸版印刷、制作した内閣府啓発ポスターの“酷似”を謝罪 作品を参考にして「チェックが不十分だった」

ABEMA NEWS は「さいとうなおき氏「作家へのリスペクト感じない」内閣府ポスター掲載中止に“絵柄パクリ”著作権侵害の境界線」という見出しで、4 月 22 日に記事を出している [20]。『絵柄』はいわゆる『画風』のことで著作権法では保護されない。記事の内容を見れば著作権侵害と

他者の著作権侵害に言及する SNS の投稿を、投稿の趣旨でスコア付けをしたいです。

「侵害ではないと主張している」を-2、
「どちらかというと、侵害ではないと主張している」を-1、
「どちらとも言えない」を 0、
「どちらかというと、侵害であると主張している」を 1
「侵害であると主張している」を 2

として-2 から 2 の間の整数値でスコア付けてください。投稿は、以下の形で入力します。

```
#####  
投稿番号  
#####  
投稿内容
```

(投稿入力形式ここまで)

複数の投稿が含まれます。回答は JSON 形式をお願いします。回答が含むキーは「投稿番号」「ラベル」「判定理由」です。

図 4 ChatGPT へ指示プロンプト

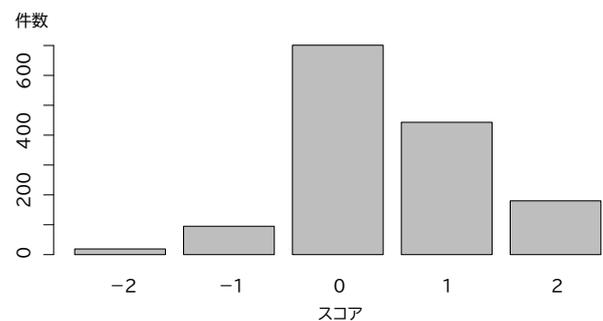


図 5 スコアの分布

なるか難しいとしていることがわかる。

3.2.3 全体の傾向

全体の傾向を把握するために ChatGPT4 に図 4 の指示をおこない、投稿が著作権侵害と主張しているか否かのスコアを付けさせた。筆者の研究で、ChatGPT によるスコア付けと、テキストマイニングによるスコア付けで正の相関があることがわかっている [21]。個人の意見で判定をおこなうため、引用 RT の際に表示されてしまう報道関係の記事内容は削除し、記事名と記事ソースのみが残るようにした。

図 5 につけられたスコアの分布を示す。右寄りの山になっており、侵害主張であると判定された投稿が多いことがわかる。

投稿時期ごとのスコアの割合について、図 6 に示す。報道のあった 4 月 19 日がもっとも侵害主張の投稿が多く、徐々に減っている。6 月 18 日の海老澤弁護士への投稿以降は、侵害主張投稿は 1 つもない。一方、侵害でないとする投稿は 5 月 13 日以降に多い傾向がある。

収集した投稿を俯瞰するため、ひとつひとつの投稿を埋

4. 考察と今後の展望

4.1 投稿分析の考察

本研究では、著作権関連炎上事例として、内閣府のポスターの件に焦点を当て分析をおこなった。本事例では、ポスターが著作権侵害とならない可能性の高い案件であったが、侵害と決めつけている投稿がそうでない投稿よりもはるかに多いことがわかった。また侵害主張の投稿は、報道直後に多いが急速に減少し、侵害ではないのではという書き込みが徐々に増えてきていた。このような傾向を発見するのに、埋め込みベクトルによる投稿の数値化が有効にはたらくことが確認できた。一方で6月の時点でもこの件について言及している層は、弁護士の投稿を目にする程度に著作権についての意識が高く、今回の件について侵害ではない可能性であることを認識している。

4.2 名誉毀損の可能性

今回調査対象とした内閣府ポスターの件では、著作権侵害とははっきり断定することができない事例であったのにも関わらず、ネットで炎上し取り下げの事態となった。そもそも広報活動は発信者が意図する形で広く知らしめることが目的であり、今回のように炎上してしまうとそもそもの目的から外れるため、取り下げ自体は正しい判断であったと言える。しかしながら、今回『制裁型』投稿をおこなった人は、「取り下げられたのだから自分たちは正しい」と誤認しないようにすべきである。

従前から SNS による誹謗中傷投稿は問題となっていたが、コロナ禍の際には反ワクチン等の理由で、医師等を誹謗中傷した投稿したアカウントに対し開示請求の手続きが取られ、謝罪文の掲載や和解金を支払うなどの事態になった [23][24]。原田はこうした投稿について「誹謗中傷のなかでは、「ゆがんだ正義感」に基づくものが一番悪質化しやすい」と述べている [25]。

4.3 著作権の知識不足

著作権侵害と誤認識して他者を犯罪者扱いすることについて、裁判で名誉毀損罪で損害賠償を命じられる場合がある。

編み物動画の事例では、ある YouTuber が自分の編み物及び編み物を編む動画を真似したとして他の YouTuber の動画を著作権侵害として YouTube に通知をし、当該動画が削除された。裁判では編み物の編み目には著作物性がないことから著作権侵害は認められず、動画を削除された方の YouTuber が精神的苦痛を負ったことについて、削除要請をおこなった YouTuber に対し損害賠償を命じている [4]。

自分のイラストをトレパク（トレースしたパクリ）したと決めつけ、Twitter やブログで誹謗中傷を繰り返した事

件では、線が重なっているだけでは著作権侵害とは認められず、トレパクしたと言われた側の名誉毀損が認められ、誹謗中傷を繰り返した方に謝罪文掲載と損害賠償支払いを命じられた [26]。

一方で、SNS での著作権侵害が裁判になった事例もある。他者の Twitter アイコンの画像をそのまま使用し、元のアカウントを揶揄する投稿を繰り返した事例では、アイコン画像の著作権（複製権及び公衆送信権）侵害と名誉毀損罪で 130 万円の支払いを命じている [27]。

筆者らが大学生に対しておこなったオンライン調査でも、3 割以上が動画や画像など第三者の著作物を投稿した経験があり、15 問のクイズでも 67% であり、全体の半数以上の問題は正解率が 50% ない結果となり、著作権の知識がまだまだ浸透していないことが示唆された [28]。

このように著作権教育もまだまだ充分ではないが、あわせて「他者を安易に犯罪者扱いしない」ということも伝えていくべきと筆者らは考える。かねてより情報教育界隈では「SNS の炎上に乗らないように」などの指導をおこなってきたはずであるが、『制裁型』の投稿者は炎上を正しいと思っている傾向があり、常々言われている「参加してはいけない炎上」に自分たちの投稿は含まれないと感じている可能性がある。こうしたことについて今後調査をおこなってきたい。

徳島市が防災をテーマにデザインしたエコバッグが、アメリカの芸術家キース・ヘリング氏の作品に似ているとネットで炎上した件について [29]、炎上投稿（該当投稿はすでに削除）に対し筆者が安易に『酷似』『悲報』などの表現をするべきでない旨の投稿したところ [30]、その投稿に対し「何を怒っているのかさっぱり理解できない」と mention 投稿をした人がいる。この方は普段から炎上投稿するアカウントではなく至って普通のアカウントであり、こうした人たちに情報を取り扱う姿勢のあり方を伝えていくのが情報教育の責務であると考えられる。

4.4 今後の展望

今回は内閣府ポスターの事例に焦点を当てて調査ということで、半年前の投稿を収集しなければならなかったため TweetDeck を使用したが、今後は日々定点観測できるよう工夫して、継続的に著作権関連の投稿を収集することを考えている。

SNS に関することは今までも情報の授業でたくさん取り上げられてきてはいるが、著作権と情報モラルの関係においては、まだ十分な教育がおこなわれていないと思われる。今後、SNS の投稿分析を継続することで、有益な提案をおこなっていければと思う次第である。

謝辞

本研究は JSPS 科研費 JP21H00896 の助成を受けたもの

である。

参考文献

- [1] 吉野ヒロ子：ネット炎上関連投稿経験者の特徴と批判の動機，帝京社会学，32，51-93，2019
- [2] 東京五輪エンブレム問題，朝日新聞デジタル，<https://www.asahi.com/special/timeline/tokyo2020emblem/?sort=asc> (2023年11月9日確認)
- [3] 福井健策：「有名作からの「記号的借用」と著作権～『ポプテピピック×サイコガン』事件覚書」，骨董通り法律事務所コラム，2018年10月5日，<https://www.kottolaw.com/column/181005.html> (2023年11月9日確認)
- [4] 京都地裁判決，2021年12月21日，令和2年(ワ)第1874号
- [5] 日田市がイラスト無断使用 ネットから転用、パンフレット表紙に 著作権管理者に56万円支払いへ，西日本新聞，2018年9月14日，<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/449452/> (2023年11月9日確認)
- [6] 無料とネットで確認したはずが…チラシのイラストは「無断使用」、市が46万円支払いへ，読売新聞オンライン，2021年12月06日，<https://www.yomiuri.co.jp/national/20211203-0YT1T50151/> (2023年11月9日確認)
- [7] 大分市広報誌キャラ、「信長の野望」と酷似 著作権侵害疑い，毎日新聞，2020年5月10日，<https://mainichi.jp/articles/20200510/ddm/041/040/068000c> (2023年11月9日確認)
- [8] ネット上のイラストを無断使用 南相馬市が25万円支払いで和解，朝日新聞デジタル，2020年5月9日，<https://www.asahi.com/articles/ASR5872D4R58UGTB009.html> (2023年11月9日確認)
- [9] 大阪市：報道発表資料 大阪 IR に関する動画等に含まれる第三者著作物の取扱いについて，2023年4月17日，<https://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryo/irsuishin/0000597688.html>
- [10] 内閣府：若年層の性暴力被害予防月間のポスター等の使用取りやめ等について https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/jakunengekkan/index.html (2023年11月9日確認)
- [11] 内閣府、性暴力防止の啓発用ポスター取りやめ「作品が酷似」と指摘，朝日新聞デジタル，2023年4月19日 <https://www.asahi.com/articles/ASR4M3QMYR4MUTFK003.html> (2023年11月9日確認)
- [12] 凸版印刷：内閣府「若年層の性暴力被害予防月間」に係るポスター等の使用取りやめ等について，2023年4月19日 https://www.holdings.toppan.com/ja/info/toppan_info20230419.pdf (2023年11月9日確認)
- [13] たなかみさき：Instagram，2023年 <https://www.instagram.com/p/CrLXp1hh7IF/> (2023年11月9日確認)
- [14] 上野達弘，前田哲男：著作物の類似性判断，勁草書房，2021年
- [15] 池村聡，小坂準記，澤田将史：実務者のための著作権ハンドブック（新版），著作権情報センター，2022年
- [16] 文化庁：AIと著作権，2023年6月 https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/pdf/93903601_01.pdf (2023年11月9日確認)
- [17] 弁護士ドットコム：「イラストが似ている」法的にアウトなラインはどこ？ 海老澤美幸弁護士に聞く，2023年06月18日 https://www.bengo4.com/c_18/n_16135/
- [18] TweetDeck：<https://TweetDeck.twitter.com/> (2023年11月9日確認)
- [19] Octoparse：<https://www.octoparse.jp/> (2023年11月9日確認)
- [20] ABEMA NEWS：さいとうなおき氏「作家へのリスペクト感じない」内閣府ポスター掲載中止に“絵柄パクリ”著作権侵害の境界線は，2023年04月22日，<https://times.abema.tv/articles/-/10076557> (2023年11月9日確認)
- [21] 天野由貴：ChatGPTが教育機関に与えた衝撃，情報処理，64(9)，p27-29 (2023-08-15)
- [22] AI テキストマイニング by ユーザーローカル <https://textmining.userlocal.jp/> (2023年11月9日確認)
- [23] 知念実希人，Twitter，2022年10月22日 https://x.com/MIKITO_777/status/1583662749590355968?s=20 (2023年11月9日確認)
- [24] コロナと戦う医師が次々と「名誉棄損」訴訟……，集中 Medicon，2023年8月11日，<https://www.medical-confidential.com/2023/08/13/post-16015/> (2023年11月9日確認)
- [25] 原田隆之：SNSで医師への誹謗中傷が多発する理由ー誹謗中傷は社会を蝕む麻薬である，Yahoo!ニュース，2023年9月14日
- [26] 東京地裁判決，令和5年10月13日，令和2(ワ)25439号
- [27] 東京地裁判決，令和4年8月9日，令和4(ワ)9640号 <https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/3cc25b03728c19b39454658fa077cc673f7a7c9b> (2023年11月9日確認)
- [28] 天野由貴，隅谷孝洋，井上仁：大学生の著作権意識についての調査と分析，大学 ICT 推進協議会年次大会論文集 2022，13PM1B-1，2022年
- [29] 徳島市エコバッグ販売中止 キース・ヘリング作品似と指摘，NHK NEWS WEB，2023年9月4日，<https://www3.nhk.or.jp/lnews/tokushima/20230904/8020018509.html> (2023年11月9日確認)
- [30] tarenyanco.10，2023年8月31日，https://twitter.com/tarenyanco_10/status/1697194303209308546 (2023年11月9日確認)